

美術教育講座 原山 健一 教授



陶芸における造形表現

キーワード 陶芸 / 美術 / 美術教育 / 陶芸ワークショップ /

どのような研究をなぜ行っているか

私は陶芸の中でも、器の様な用途を持たない、造形的な作品（オブジェ）を制作・研究しています。土が持つ柔らかさや、粘り気といった特性からもたらされる質感や形は、陶芸における重要な表現要素であり、そのまま制作のインスピレーションにつながります。私の制作においても、この「土の性質」そのものを大きなテーマとして取り組んでいます。

陶芸を通じた海外との交流にも積極的に取り組んでおり、これまでイタリア、ドイツ、トルコ、タイ、中国での展覧会、シンポジウム、滞在制作の経験があります。

教育現場における陶芸授業の実施方法についても研究をしていて、陶芸用の窯がない学校における陶芸授業の実施などに関する研究の実績があります。



研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

- ・ 子供から大人までを対象とした、陶芸授業や陶芸ワークショップの指導
- ・ 陶芸に関する講演
- ・ 自治体のプロポーザル委員
- ・ 地場産業、伝統工芸関連企業へのアドバイス（陶芸、工芸に関して）

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・ 奈良教育大学附属中学校陶芸授業指導、奈良高専しなやかエンジニア教育プログラム 陶芸ワークショップ講師、岐阜県現代陶芸美術館 子供向けワークショップ講師
- ・ 奈良県図画工作美術教育研究会 講師
- ・ 岐阜県現代陶芸美術館 大地のこどもたち2020展審査委員長
- ・ 奈良市プロポーザル審査委員、岐阜県プロポーザル審査委員
- ・ タイル製造メーカーへの技術アドバイス

